



2026 SUPER FORMULA RACE REPORT

SUZUKA CIRCUIT

Rd.4 - 5

5.22[fri] - 24[sun]

[place] 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

[weather] **fri** 曇り **sat** 曇り一時雨 **sun** 晴れ

[spectators] 33,000人 (**fri** 4,000人 **sat** 13,000人 **sun** 16,000人)

Rd.1-2	MOBILITY RESORT MOTEGI	APR 3 - 5
Rd.3	AUTOPOLIS	APR 25 - 26
Rd.4-5	SUZUKA CIRCUIT	MAY 22 - 24
Rd.6-7	FUJI SPEEDWAY	JUL 17 - 19
Rd.8	Sportsland SUGO	AUG 8 - 9
Rd.9-10	FUJI SPEEDWAY	OCT 9 - 11
Rd.11-12	SUZUKA CIRCUIT	NOV 20 - 22

小林可夢偉が待望のチーム初ポイントを獲得！
小林利徠斗も第5戦で予選Q2進出！
鈴鹿大会で大きな躍進を果たす。



2026年NGKスパークプラグ全日本スーパーフォーミュラ選手権 Round4・5が5月23日(土)・24日(日)に鈴鹿サーキットで行われた。KDDI TGMGP TGR-DCは小林可夢偉がRound4の予選でQ2に進出。決勝は天候に翻弄される結果となったが、Round5では見事な追い上げで10位に入り、待望の初ポイントをもたらした。小林利徠斗もRound5で予選8位を獲得。決勝はトラブルで後退したが、これまで培ってきた経験を存分に発揮した。

RESULTS

Round 4
予選 11位 | 決勝 17位

Round 5
予選 13位 | 決勝 10位

Rd. 4	Rd. 5
QUALIFYING 1	
P4(A Gr) 1'38.269	P7(B Gr) 1'38.258
QUALIFYING 2	
P11/1'49.474	-
RACE	
P17/1'40.953	P10/1'39.864 Fastest Lap
STANDINGS	
DRIVERS 20位	TEAMS 15位

7 小林 可夢偉 | KAMUI KOBAYASHI
KDDI TGMGP TGR-DC

RESULTS

Round 4
予選 -位 | 決勝 16位

Round 5
予選 8位 | 決勝 23位

Rd. 4	Rd. 5
QUALIFYING 1	
P - (B Gr) 1'47.637	P4(A Gr) 1'38.110
QUALIFYING 2	
-	P8/1'39.357
RACE	
P16/1'41.058	P23/1'40.888
STANDINGS	
DRIVERS -	TEAMS 15位

28 小林 利徠斗 | RIKUTO KOBAYASHI
KDDI TGMGP TGR-DC

Rd. 4

予選 天候:曇り | 気温:20℃ | 路面温度:22℃

決勝 天候:曇り時々雨 | 気温:20℃ | 路面温度:24℃

23日(土)午前に行われた予選で、小林可夢偉がQ1Aグループから出走し4番手タイムを記録。今シーズン初のQ1突破を果たした。さらに上位を目指したQ2だったが、デグナーカーブの2つ目でコースオフがあった影響で11位となった。Q1Bグループの小林利徠斗もQ2進出の可能性は十分にあったが、残り時間が2秒ほど足りず、タイムアタックができないまま予選を終えた。

午後の決勝レース(31周)では、途中にセーフティカーが2度も導入される波乱の展開となった。さらに残り10周を迎えるところで雨が降りはじめ、小林可夢偉はウェットタイヤに交換。スリックタイヤで現状維持を狙った小林利徠斗も状況変化に応じてタイヤ交換したが、残り4週のレース再開時には雨が止み、2台とも作戦が裏目に出る結果に。小林利徠斗が16位、小林可夢偉は17位に終わった。



Rd. 5

予選 天候:晴れ | 気温:24℃ | 路面温度:33℃

決勝 天候:晴れ | 気温:25℃ | 路面温度:40℃

心機一転で臨んだRound5の予選では、2台ともに力強い走りを披露。なかでも前日はタイムアタックができなかった小林利徠斗がQ1Aグループで4番手に入り、自身としては初めてQ1を突破した。Q2では思うようにタイムを縮めることができなかったが、走路外走行の判定を受けたライバルがおり、最終的に8位につけた。小林可夢偉は僅差でQ1Bグループ7番手となり、Q2に進出はならなかったが、前日と同様に手応えある走りをみせた。

決勝は、レースペースが良かった小林可夢偉が最終盤までピットストップを遅らせる作戦でライバルを逆転。28周目にタイヤ交換し10番手でコースに復帰。最終周にはファステストラップも記録し、チーム待望の初入賞を果たした。8番グリッドからスタートした小林利徠斗は、途中のピットストップ以降はトラブルでペースを上げられず、23位となった。





Driver
小林可夢偉

Round4決勝は自分たちの選択がすべて裏目に出る結果になりましたが、Round5でやっと待望の1ポイントを獲得することができました。しかも、レース展開でラッキーなところがあったということではなく、しっかりと実力でこのポジションにこられたのは、上り調子になっているのだと思います。Round5の予選では惜しくもQ2に届きませんでした。全体的に悪くはなかったですし、決勝のペースも良かったです。次の富士テストでしっかりと準備を整えて、後半戦で良いレースができるようにしたいと思います。



Driver
小林利徠斗

Round4では予選でタイムアタックができずに終わりましたが、クルマのポテンシャルはあったのでRound5ではQ2に進むことができました。良い位置からスタートできましたし、序盤から積極的に仕掛けに行ける場面もあったので良かったと思います。でも、ペースの部分やバトルの場面で課題もありました。ピットに入った後に車両側にトラブルがあって、最終的に23位になりましたが、ポテンシャルは確認できたので、次戦に向けても良い準備ができるのではないかと思います。



Team Director
片岡龍也

たった1ポイントですけど、我々にとっては大きな1ポイントだと思います。しかも、今回は順当にレースをして実力で獲ったポイントです。今週は走り始めから、これくらいの順位に來られるだろうというパフォーマンスがありました。小林利徠斗も予選は良かったですが、決勝は大きなペースダウンがあったので、そこはクルマをしっかりと確認して原因を見つけたいと思います。この後、富士テストもありますから、この流れを後半戦につなげたいと思います。

